

# PSS-108/MA-TH

PSS-108/MA-TH  
取扱説明書



ジリオン・ネットワークス株式会社

- 次のような用途にご使用される場合は、十分な配慮が必要となりますので、事前に当社にご相談ください。
  - 命に直接かかわるシステム
  - 社会的・公共的に重要なシステム
  - その他、機能維持に重大な影響をおよぼすシステム

## 安全上のご注意

### 注意

- **交流 100V 以外では使用しないでください。**  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **必ずアース線を接続してください。**  
感電や誤動作の原因となることがあります。
- **雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れないでください。**  
感電の原因となることがあります。
- **この装置を分解・改造しないでください。**  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。**  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**  
感電の原因となることがあります。
- **開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。**  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。**  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **直射日光の当たるところや湿度の高いところに設置しないでください。**  
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- **振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。**  
落下して、ケガ・故障の原因となることがあります。
- **この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置してください。**  
ケガ・故障の原因となることがあります。
- **イーサネットポートに 10BASE-T 以外の機器を接続しないでください。**  
火災・感電・故障の原因となることがあります。

## 使用上のご注意

- 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
- 商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい所からお取りください。
- この装置の電源を切るときは電源コードをはずしてください。
- この装置を清掃する際は、その前に電源コードをはずしてください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
- この装置を高所に取り付ける場合は、ネジなどで壁面に確実に固定してください。
- RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイスト・ペア・ケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。  
静電気により故障の原因となることがあります。
- コネクタに接続されたイーサネットケーブルを帯電するものの上や近辺に放置しないでください。  
静電気により故障の原因となることがあります。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害、および本装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。
4. Microsoft Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

# CONTENTS

## 目次

1. お使いになる前に	
1-1 本商品のできること	1
1-2 箱の中身を確認しよう	1
1-3 各部の名称とはたらき	2
2. 接続方法	
2-1 接続方法	4
3. 初期設定	
3-1 コンソールで接続	6
3-2 ログイン	6
3-3 メインメニュー	7
3-4 システム設定	8
3-5 SNMP 設定	9
3-6 セキュリティ設定	10
3-7 フィルタ設定	11
3-8 ユーザ設定	11
4. Webでの操作	
4-1 Web で接続	12
4-2 ログイン	13
4-3 操作画面について	14
4-4 電源制御画面	15
4-5 リアルタイムモニタ画面	16
4-6 ログ・イベント画面	17
4-7 設定	18
4-7-1 システム設定画面	18
4-7-2 電源制御設定画面	20
4-7-3 UPS 設定画面	22
4-7-4 センサーポート設定画面	23
4-7-5 温度・湿度 一括設定画面	24
4-7-6 温度・湿度監視ポート設定 センサー登録画面	25
4-7-7 自動制御設定 画面	26
4-7-8 ping 監視設定画面	28
4-7-9 通報トラップ設定画面	29
4-7-10 通報メール設定画面	30
4-7-11 セキュリティ設定画面	31
4-7-12 WakeUpLAN 設定画面	32
4-8 リセット画面	33
4-9 ログアウト画面	34
5. TELNETサーバ機能	
5-1 TELNET サーバへの接続	35
5-2 コマンド書式	36

	5-3	コマンド実行例 .....	36
6.		SNMP機能	
	6-1	SNMP の使用 .....	38
7.		お困りのときには	
	7-1	トラブルシューティング .....	39
8.		付録	
	8-1	製品仕様 .....	41
	8-2	お問い合わせ・ユーザ登録 .....	41

# 1

## お使いになる前に

### 1-1 本商品でできること

本商品は、下記の機能を提供します。

- Web からの温度・湿度の監視が可能です。
- 最大 25 点の温度・湿度の計測が可能です。
- 温度・湿度の異常発生及び解消時の外部への通知（E メール、SNMP トラップ）が可能です。
- 接続機器の電源制御が可能です。（Web、TELNET、SNMP から操作が可能）

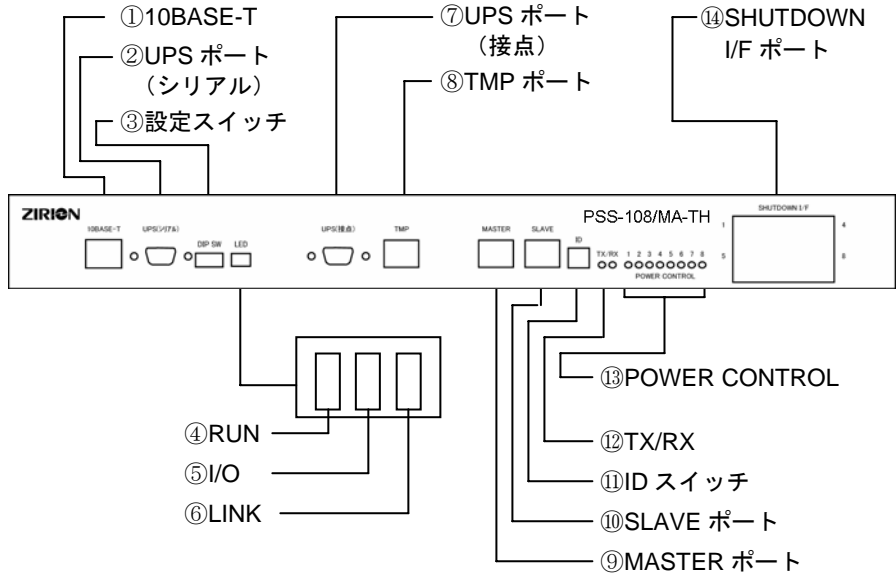
### 1-2 箱の中身を確認しよう

設置の前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがあれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成部品
1. 本体
2. マニュアル
3. ラック取り付け金具（2 個）
4. ネジ（ラック取り付け金具用）（8 本）
5. 設定用ケーブル
6. CD（1 枚）
7. ゴム足（4 個）

## 1-3 各部の名称とはたらき

### ● 前面図



### 【LED 表示】

LEDの種類	LEDのつきかた	本商品の状態
④RUN	橙 (点滅)	正常に動作しているとき
	橙 (点灯)	動作に異常があるとき
⑤I/O	橙 (点滅)	シリアル通信中
⑥LINK	橙 (点滅)	パソコンとのデータ送受信中
	(消灯)	リンクが確立されていないとき
⑫TX/RX		本商品の内部通信で使用します。
		本商品の内部通信で使用します。
⑬POWER CONTROL	緑 (点灯)	アウトレットの出力があるとき
	(消灯)	アウトレットの出力がないとき

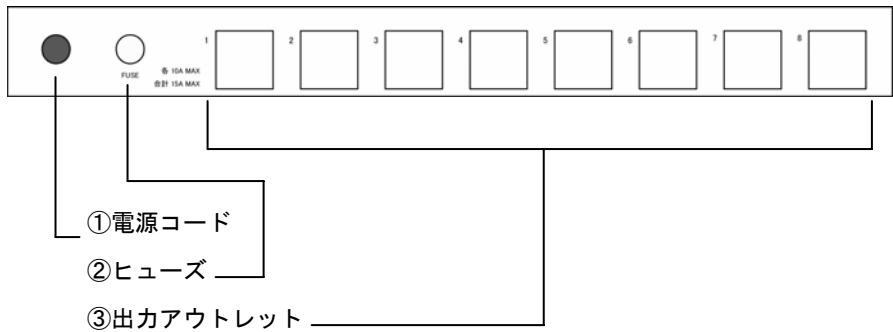
### 【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明
①10BASE-T	10BASE-T	ネットワークに接続します。
②UPS ポート (シリアル)	UPS (シリアル)	本商品の設定をする際に使用します。

【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明	
③設定スイッチ (左から1,2,3,4)	DIP SW	1	使用しません。初期値：上向き
		2	使用しません。初期値：上向き
		3	本商品の設定をする際に下向きにして使用します。初期値：上向き
		4	使用しません。初期値：上向き
⑦UPS ポート (接点)	UPS (接点)	使用しません。	
⑧TMP ポート	TMP	温度センサー、温度センサーを接続します。	
⑨MASTER ポート	MASTER	使用しません。	
⑩SLAVE ポート	SLAVE	使用しません。	
⑪ID スイッチ	ID	使用しません。全て OFF (上向き) にしてください。	
⑭SHUTDOWN I/F ポート	SHUTDOWN I/F	使用しません。	

● 背面図



【コネクタ等】

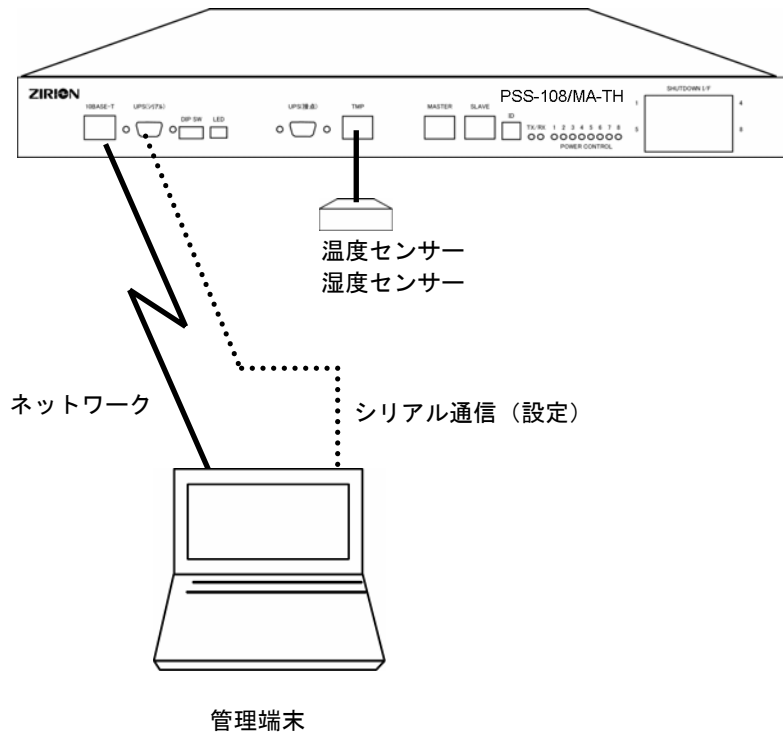
名称	表示	機能の説明
①電源コード	なし	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。
②ヒューズ	FUSE	過電流防止用ヒューズです。
③出力アウトレット	なし	本商品に機器を接続するコンセントです。

# 2

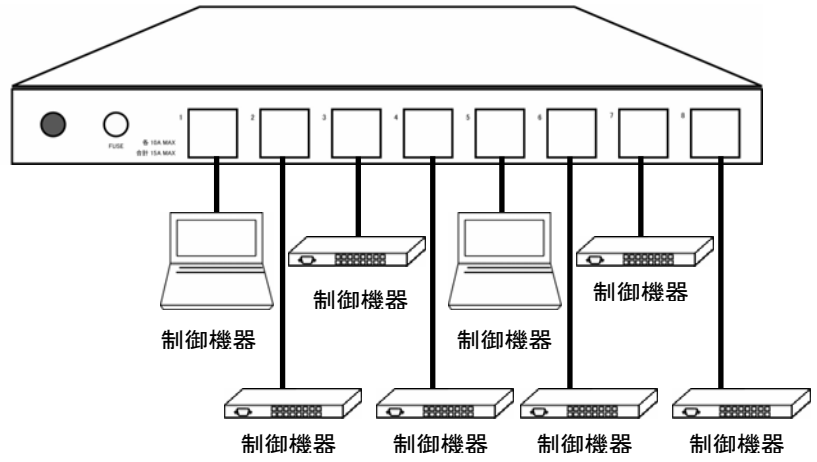
## 接続方法

### 2-1 接続方法

#### 1.正面接続図



## 2.背面接続図



# 3

## 初期設定



### 3-1 コンソールで接続

Windows のハイパーターミナルが動作する端末を本商品の UPS (シリアル) ポートに接続します。

接続ケーブルは本商品に付属の設定用ケーブルを使用してください。

パソコンと本商品とを設定用ケーブルで接続し、以下の手順でハイパーターミナルを起動します。ただし、お使いになるパソコンに、ハイパーターミナルがインストールされていることが必須です。

1. Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが現れますので、「名前」の欄に "hypertrm.exe" と入力し、[OK] ボタンをクリックします。
3. 「接続の設定」ウィンドウが現れますので、名前を入力し、好きなアイコンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。
4. 「電話番号」ウィンドウが現れますので、[接続方法] の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、「COM1」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。ただし、ここでは、設定用ケーブルが COM1 に接続されているものとします。
5. 「COM1 のプロパティ」というウィンドウが現れますので、「ビット/秒」の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、「38400」を選択します。  
続いて、「データビット」の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、「7」を選択します。  
選択が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
6. 取扱説明書の 3-2~3-10 に従って設定を行います。
7. ハイパーターミナルのメインメニューの [ファイル] をクリックし、[ハイパーターミナルの終了] をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうか聞いてきますので、[はい] ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保存するかどうか聞いてきますので、[はい] ボタンをクリックします。
8. Windows のタスクバーの [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] のフォルダに、「<name>.ht」 (<name>は、3. で入力した名前) というファイルが作成されます。次回からは、「<name>.ht」をクリックしてハイパーターミナルを起動し、6. の操作を行えば設定が可能となります。

### 3-2 ログイン

1. 本商品前面の設定スイッチの 3 を ↓ の向き (下向き) に倒します。
2. ハイパーターミナルを接続した状態 (3-1 参照) で、本商品の電源を入れます。

3. Testing Memory, Testing Loopback に続き、Password:が表示されますので、パスワードを入力し Enter キーを押してください。

<出荷時の設定>

Password: magic

```

-----
                PSS-108/MA-TH
                Software Version 1.20-SYM
                Copyright(C) 2003, ZIRION NETWORKS, Inc.
                All Rights Reserved
-----
Password:

```

### 3-3 メインメニュー

ログインが完了すると、次のような MAIN MENU 画面が表示されます。

Select Number: に実行する項目ナンバーを入力し、Enter キーを押すと、1 から 7 を選択した場合は、指定した画面に移動します。

8、9 を選択した場合は、Enter キーを押した後、YES[Y] /NO[N] と処理の確認が要求されますので、YES の場合は、y(Y)を、NO の場合は、n(N)を入力後、Enter キーを押してください。

- MAIN MENU -

SETTING

1.SYSTEM SETTING

2.UPS SETTING

3.TMP SETTING

4.SNMP SETTING

5.SECURITY SETTING

6.IP FILTERING

7.USER REGISTRATION

EXIT

8.SAVE

9.QUIT WITHOUT SAVE

Select Number:

画面の説明	
1.SYSTEM SETTING	IP アドレス等の基本機能の設定を行います。
2.UPS SETTING	使用しません。
3.TMP SETTING	使用しません
4.SNMP SETTING	SNMP に関する設定を行います。
5.SECURITY SETTING	セキュリティに関する設定を行います。
6.IP FILTERING	特定の IP アドレス以外からの通信を遮断します。
7.USER REGISTRATION	ユーザ登録を行います。
8.SAVE	設定内容を保存して設定画面を終了します。
9.QUIT WITHOUT SAVE	設定内容を保存せずに設定画面を終了します。

### 3-4 システム設定

MAIN MENU で 1 を選択すると、次のような SYSTEM SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目ナンバーを入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

#### - SYSTEM SETTING -

Ethernet Address <00E03EFFFFFF>  
1.IP Address 192.168.10.1  
2.Subnet Mask 255.255.255.0  
3.Default Gateway IP Addr 0.0.0.0  
4.Mail Server IP Address 0.0.0.0  
5.Web Port 80

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Ethernet Address	本商品の MAC アドレスが表示されます。 これは、変更できません。
1.IP Address	10-BASE ポートで本商品の Web 画面にアクセスする際の現在設定されている IP アドレスを表示します。 デフォルト値：「192.168.10.1」
2.Subnet Mask	10-BASE ポートで本商品の Web 画面にアクセスする際の現在設定されているサブネットマスクを表示します。 デフォルト値：「255.255.255.0」
3.Default Gateway IP Addr	デフォルトゲートウェイの現在設定されている内容を表示します。
4.Mail Server IP Address	現在設定されているメールサーバの IP アドレスを表示します。 デフォルト値：「0.0.0.0」
5.Web Port	Web サーバのポート番号を表示します。 デフォルト値：「80」

### 3-5 SNMP 設定

MAIN MENU で 4 を選択すると、次のような SNMP SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- SNMP SETTING -

1.SNMP Enabled	1(1:enabled,2:disabled)
2.SET Community	public
3.GET Community	public
4.sysContact	support@zirion.co.jp
5.sysLocation	Nowhere
6.sysName	Noname

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
1.SNMP Enabled	1. enabled: SNMP 機能を有効にします。 2. disabled: SNMP 機能を無効にします。 デフォルト値 : 「1」 (enabled)
2.SET Community	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されている SET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値 : 「public」
3.GET Community	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されている GET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値 : 「public」
4.sysContact	連絡先を表示します。 デフォルト値 : 「support@zirion.co.jp」
5.sysLocation	設置場所を表示します。出荷時には何も設定されていません。
6.sysName	システム名を表示します。出荷時には何も設定されていません。

**MEMO**

sysContact で設定した連絡先は、メールを送信する設定ではありません。

## 3-6 セキュリティ設定

MAIN MENU で 5 を選択すると、次のような SECURITY SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

### - SECURITY SETTING -

#### Access Mode

1.Mode 1(1:NORMAL,2:SECURE)

#### Manager IP Address

2.Manager1 0.0.0.0/32

3.Level1 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

4.Manager2 0.0.0.0/32

5.Level2 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

6.Manager3 0.0.0.0/32

7.Level3 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

8.Manager4 0.0.0.0/32

9.Level4 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

A.Manager5 0.0.0.0/32

B.Level5 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Access Mode	IP アドレスでアクセスを制限します。 1. normal: どのコンピュータからでもアクセス可能 2. secure: 指定したコンピュータのみアクセス可能 この場合、指定したコンピュータ以外からは、SNMP の GET、ping のみ可能になります。
Manager IP Address	現在設定されているアクセスを許可するコンピュータの IP アドレス、サブネットマスク、レベル（セキュリティ）を設定します。 レベルには次の 3 つがあります。 IDENT→リアルタイムモニタのみ使用可能です。 CONTROL→セキュリティ設定を除く操作が可能です。 ADMIN→全て操作可能です。



サブネットマスクは、ネットワークアドレスが先頭から何ビットまでかを記述します。

(例) IP アドレス帯 192.168.10.1~192.168.10.255、サブネットマスク 255.255.25.5.0 からのアクセスを指定する場合、192.168.10.1/24 と指定します。

固定 IP アドレスを指定する場合、(例) 192.168.10.123、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスのみ許可する場合は、192.168.10.123 (/以降は何も入力しない) にします。

### 3-7 フィルタ設定

MAIN MENU で 6 を選択すると、次のような IP FILTERING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- IP FILTERING -

IP Filtering	0.0.0.0
1.IP Filter1	0.0.0.0
2.IP Filter2	0.0.0.0
3.IP Filter3	0.0.0.0
4.IP Filter4	0.0.0.0
5.IP Filter5	0.0.0.0
6.IP Filter6	0.0.0.0
7.IP Filter7	0.0.0.0
8.IP Filter8	0.0.0.0

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
IP Filtering	指定した IP アドレス以外からのアクセスを受け付けません。

### 3-8 ユーザ設定

MAIN MENU で 7 を選択すると、次のような USER REGISTRATION メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- USER REGISTRATION -

Administrator  
1.Admin Password \*

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Administrator	Web 画面にアクセスするアドミニストレータ(管理者ユーザ)のパスワードの登録を行います。 初期値は、「magic」です。

# 4

## Web での 操作

ネットワークに接続するための設定方法について説明します。

### 4-1 Web で接続

Ethernet カード (10BASE-T 対応) を装備した端末を本商品の 10BASE-T ポートに接続します。接続ケーブルは、本商品と端末を直接接続する場合は、CAT3 以上のクロスケーブルを使用してください。

本商品	出荷時	
	IP アドレス	192.168.10.1
	サブネットマスク	255.255.255.0



ネットワーク



管理端末

Web ブラウザ  
Internet Explorer 5.5 SP2  
または  
Internet Explorer 6

## 4-2 ログイン

下記の手順に従い本商品にログインします。



1. ブラウザからログインするためには、本商品に設定した IP アドレスをブラウザアドレス部分に入力します。入力する際、最初に「http://」と入力してください。その後設定した IP アドレスを入力してください。出荷時の IP アドレスは 192.168.10.1 となっております。
2. 図のようなログイン画面が表示されます。ユーザ名・パスワードを入力してください。出荷時のユーザ名は「admin」、パスワードは「magic」となっています。入力後「ログイン」ボタンをクリックします。  
画面が表示されない時は、通信条件等の設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。



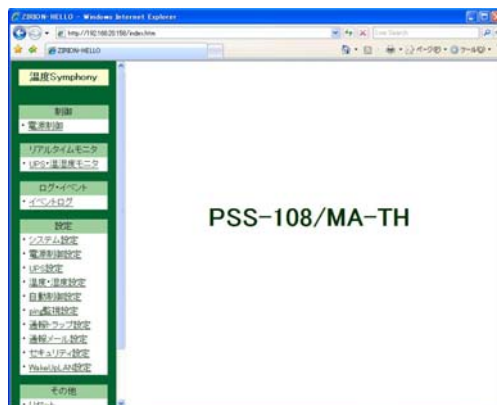
プロキシサーバをご使用の場合は、ブラウザのプロキシ設定の例外に本商品の IP アドレスを設定してください。

ログイン後の Web 画面が正常に表示されない場合は、JavaScript が有効に設定されていることを確認してください。

http://設定した IP アドレスを入力

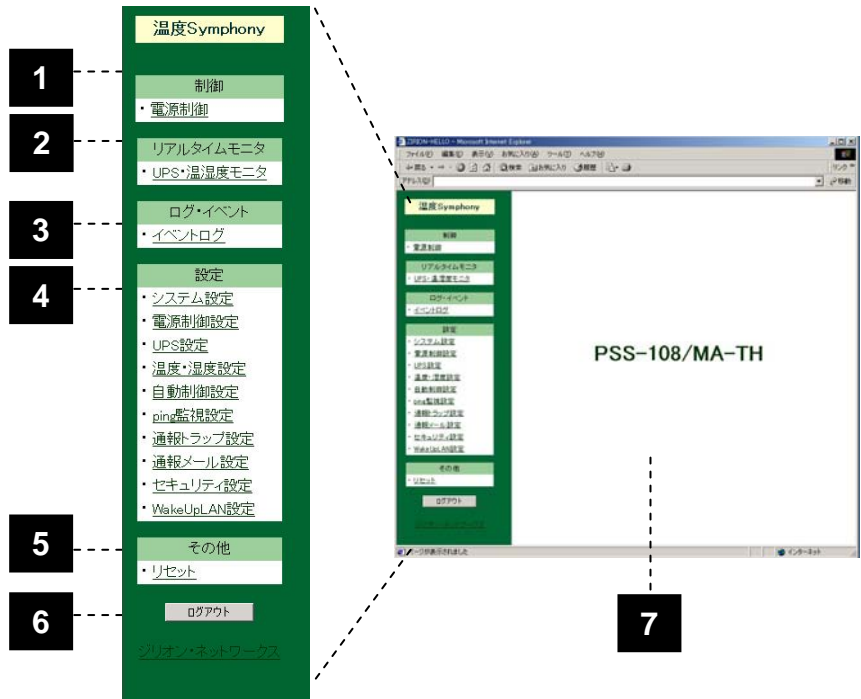


出荷時のユーザ名 : admin  
パスワード : magic



### 4-3 操作画面について

本商品の画面は、次のような構成になっています。



画面の説明	
1.制御	電源制御を行います。
2.リアルタイムモニタ	温湿度情報をリアルタイムに表示します。
3.ログ・イベント	各種ログを表示します。
4.設定	本商品のシステム及び接続されているポート等、各項目の設定を行います。
5.リセット	本商品をリセットします。 リセット実行時、Web 接続は強制的に切断されますので、再度ログインが必要です。
6.ログアウト	操作を終了する場合にクリックします。
7.メイン画面	各メニューの設定画面や情報画面が表示されます。

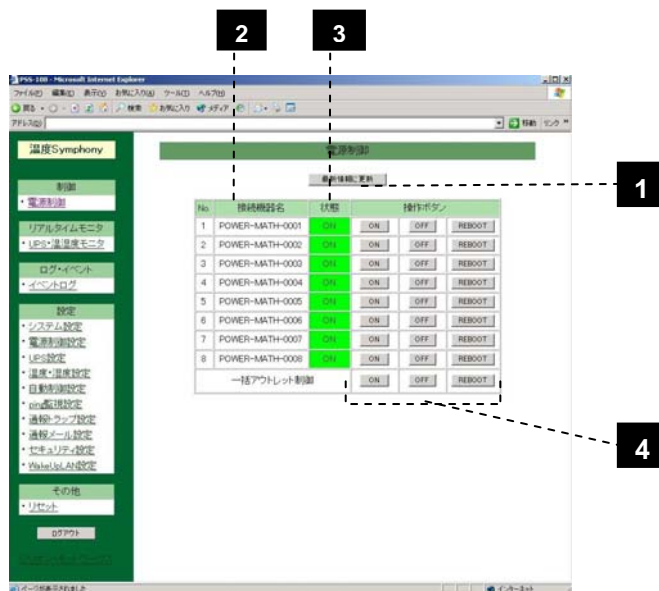
増設電源ユニットを増設してご使用の場合は、増設電源ユニットの取扱説明書も合わせて参照してください。



イベントログ画面を表示するには、Java VM(JRE)がインストールされている必要があります。

## 4-4 電源制御画面

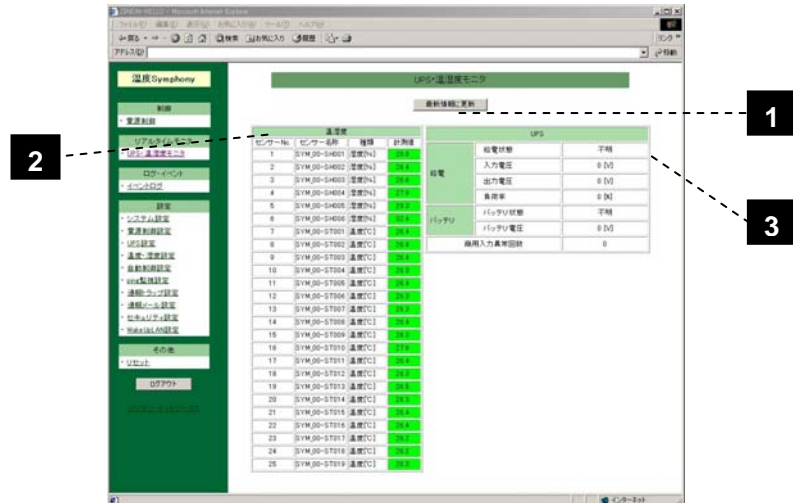
各コンセントの出力状態を表示し個別または一括で制御します。



画面の説明	
1.最新情報に更新ボタン	最新の情報を表示します。
2.接続機器名	「電源制御設定画面」で設定した名前を表示します。
3.状態	コンセントの出力状態を表示します。状態によってセルの色が変わります。 出力 ON の場合：「緑色」 出力 OFF の場合：「赤色」
4.操作ボタン	コンセントの出力を制御します。 コンセント出力の遅延時間等の設定は、「電源制御設定画面」で行います。 REBOOT 制御は、直ちに出力を OFF して指定秒数後に ON 制御します。

## 4-5 リアルタイムモニタ画面

温度情報をリアルタイムに表示します。

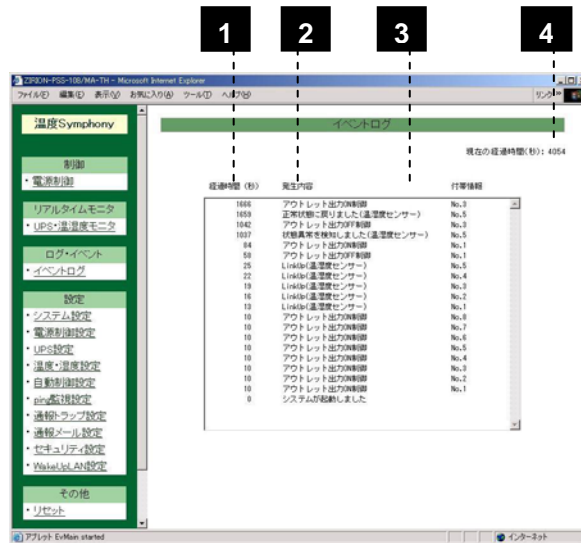


画面の説明		
1.最新情報に更新ボタン		表示内容を最新の情報に更新します。
2.温湿度	センサーNo	センサーNoが表示されます。
	センサー名称	センサー名称が表示されます。
	種類	温度の場合は「温度[°C]」、湿度の場合は「湿度[%]」と表示されます。
	計測値	温度または湿度の計測値が表示されます。
3.UPS	使用しません。	

本商品では、UPSは未使用になっています。

## 4-6 ログ・イベント画面

イベントログの一覧を表示します。



画面の説明	
1.経過時間 (秒)	イベントが発生した時点の、本体コントローラが起動してからの経過時間を表示します。
2.発生内容	イベントの内容を表示します。
3.付帯情報	イベントに付帯情報がある場合、付帯情報を表示します。
4.現在の経過時間 (秒)	現時点の、本体コントローラが起動してからの経過時間を表示します。

イベントの内容 (メッセージ)	付帯情報
アウトレット出力 ON 制御	No.(port)
アウトレット出力 OFF 制御	No.(port)
メール送信エラー	
システムが起動しました	
状態異常を検知しました(温湿度センサー)	No.(port)
正常状態に戻りました(温湿度センサー)	No.(port)
LinkUp(温湿度センサー)	No.(port)
LinkDown(温湿度センサー)	No.(port)

(port)は、ポート番号、アウトレット番号を表示します。



イベントログ画面を表示するには、Java VM(JRE)がインストールされている必要があります。

## 4-7 設定

### 4-7-1 システム設定画面

システムに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1. ネットワーク情報	本商品の 10BASE-T ネットワーク情報を設定します。設定変更内容は、本体リセット後に反映されます。	
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します
	IP アドレス (*)	IPアドレスを設定します。 デフォルト値：「192.168.10.1」
	サブネットマスク (*)	サブネットマスクを設定します。 デフォルト値：「255.255.255.0」
	デフォルトゲートウェイ (*)	デフォルトゲートウェイを設定します。
2. システム情報	エージェントバージョン	本商品のファームウェアのバージョン番号が表示されます。
	機器名称	本商品の名称を設定します。
	システム名称	本商品を特定する為の情報を設定します。
	システムの設置場所	本商品の設置場所の情報を設定します。
	管理者	管理者のメールアドレスを設定します。メールを送信する機能ではありません。

MEMO

(\*) 印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

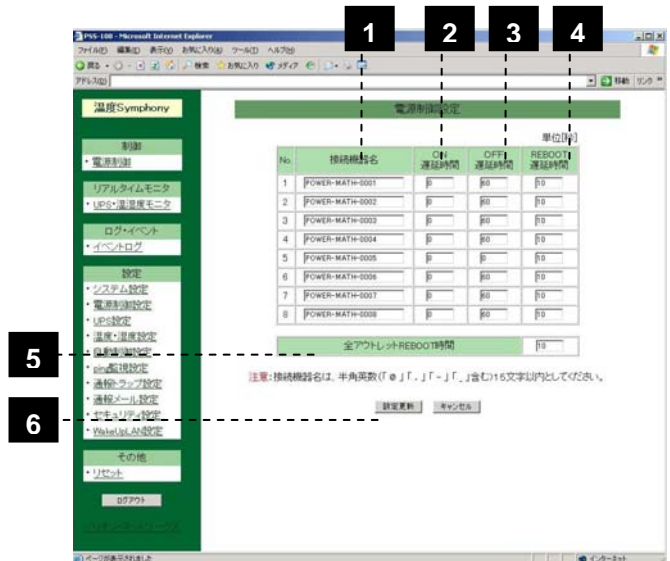
画面の説明		
2.システム情報	自動ログアウト時間	本商品に対して一定の時間アクセスがなかった場合にログアウトする時間を設定します。 デフォルト値：「600」秒
3.SNMP 情報	SET コミュニティ名	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されているSET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値：「public」
	GET コミュニティ名	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されているGET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値：「public」
4.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	

**MEMO**

(\*) 印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

## 4-7-2 電源制御設定画面

各コンセント出力に関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明	
1.接続機器名	<p>本商品の個別のアウトレットそれぞれに対して名前を定義し、各アウトレットに接続された機器を識別することが出来ます。半角英数字で最大 15 文字まで指定できます。</p>
2.ON 遅延時間	<p>本商品に電源が投入された際、各アウトレットに接続された機器に対して電源供給を開始するまでの遅延時間を設定します。この設定により、本商品に接続されている機器を指定した順番に、指定したタイミングで起動することが可能です。</p> <p>出力を開始しない場合は、「-1」を指定します。 この遅延時間は以下の処理を行う際に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品の電源投入時</li> <li>● 電源制御→一括アウトレット制御→ON</li> <li>● 電源制御→一括アウトレット制御→REBOOT</li> </ul>
3.OFF 遅延時間	<p>各アウトレットの電源出力を停止する際の遅延時間を設定します。</p> <p>この設定により、サーバを正常にシャットダウンしてから電源出力を停止することが可能になります。</p> <p>出力を開始しない場合は、「-1」を指定します。 この遅延時間は以下の処理を行う際に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源制御→個別アウトレット制御→OFF</li> <li>● 電源制御→一括アウトレット制御→OFF</li> <li>● 電源制御→一括アウトレット制御→REBOOT</li> <li>● 停電時のバックアップ処理</li> </ul>

4.REBOOT 遅延 時間	<p>各アウトレットに接続した機器をリブートする際、電源が切断されてから再投入されるまでの遅延時間を設定します。</p> <p>この設定により、接続された任意の機器の特性に最適な再起動時間を本商品で管理することが可能です。</p> <p>設定値は「5」以上の値を指定できます。</p> <p>この遅延時間は以下の処理を行う際に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源制御→個別アウトレット制御→REBOOT</li> </ul>
5.全アウトレット REBOOT 時間	<p>全アウトレットの接続機器を一斉にリブートする際、電源を切断してから順次電源投入を開始するまでの遅延時間を設定します。</p> <p>設定値は「5」以上の値を指定できます。</p> <p>この遅延時間は以下の処理を行う際に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源制御→一括アウトレット制御→REBOOT</li> </ul>
6.設定更新 ボタン	<p>入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。</p>

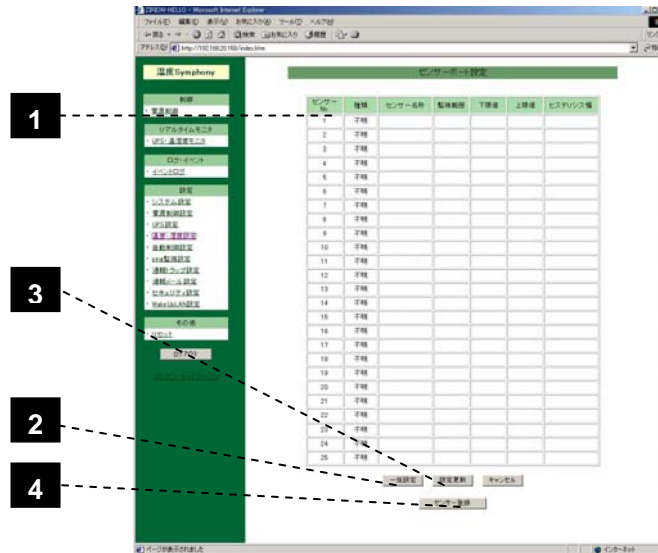
## 4-7-3 UPS 設定画面

※本商品では使用しません。



## 4-7-4 センサーポート設定画面

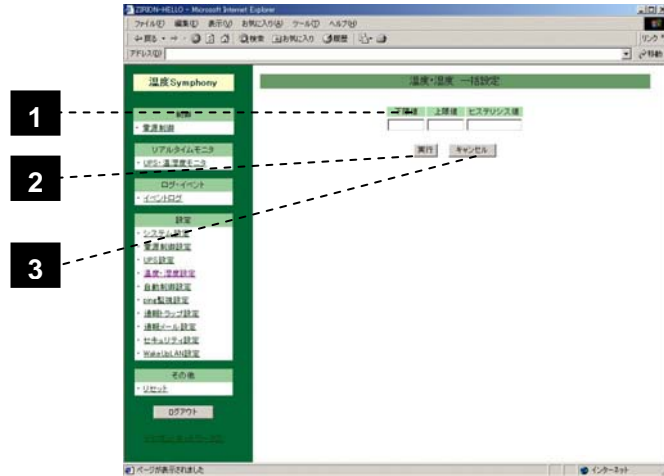
温湿度センサーに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.温湿度センサー	種類	センサーの種類を表示します。 温度センサーの場合「温度」 湿度センサーの場合「湿度」 未接続の場合「不明」です。 設定の変更はできません
	センサー名称	センサー名称を表示します。 設定の変更はできません
	監視範囲	監視可能な範囲を表示します。 温度は-10~80°C、湿度は 10~85% で、設定の変更はできません。
	下限値	異常検出時の下限値を設定することが できます。デフォルトは 温度-10、湿度 10です。
	上限値	異常検出時の上限値を設定することが できます。デフォルトは 温度 80、湿度 85です。
	ヒステリシス幅	ヒステリシス幅を設定することが できます。デフォルトは0です。
2.一括設定ボタン	クリックすると「温度・湿度 一括設定」画面に遷移します。	
3.設定更新 ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボ タンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックする と、変更箇所が入力前にもどります。	
4.センサー登録 ボタン	クリックすると「温度・湿度監視ポート設定 センサー登録」 画面に遷移します。	

#### 4-7-5 温度・湿度 一括設定画面

温湿度センサーに関する各情報の一括変更を行います。

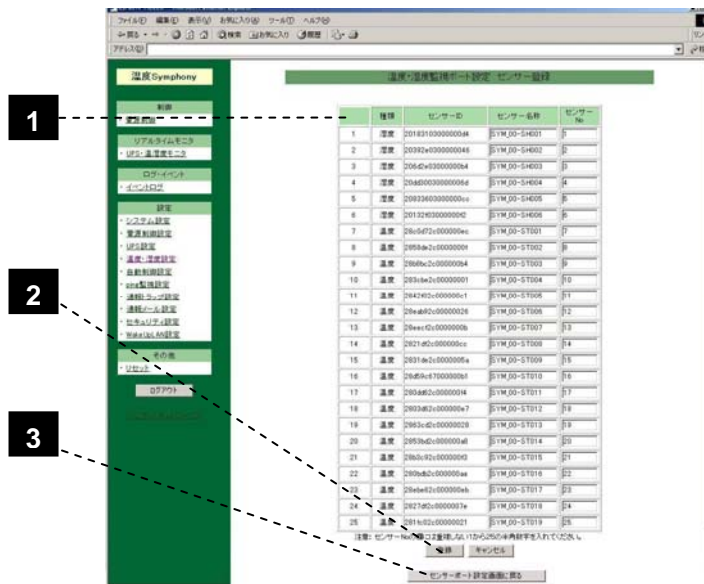


#### 画面の説明

1.一括設定入力	下限値	一括設定する下限値を入力します。
	上限値	一括設定する上限値を入力します。
	ヒステリシス幅	一括設定するヒステリシス幅を入力します。
2.実行ボタン	クリックすると「センサーポート設定」画面に遷移します。 全てのセンサーポートの下限値、上限値、ヒステリシス幅の値を、一括設定画面で入力した値に変更します。 ※「センサーポート設定」画面の「設定更新」ボタンをクリックするまでは、設定値は反映されません。	
3.キャンセルボタン	クリックすると「センサーポート設定」画面に遷移します。 ※値は変更されません。	

## 4-7-6 温度・湿度監視ポート設定 センサー登録画面

温湿度センサーに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.温湿度センサー	種類	センサーの種類を表示します。 温度センサーの場合「温度」 湿度センサーの場合「湿度」 未接続の場合「不明」です。 設定の変更はできません。
	センサーID	センサーIDを表示します。 設定の変更はできません。
	センサー名称	センサーごとに分かりやすい名称を設定することができます。半角英数字 15 文字以内で入力して下さい。
	センサーNo	センサーごとに分かりやすいセンサーNoを設定することができます。 「リアルタイムモニタ」画面、 「センサーポート設定」画面では 設定したセンサーNo 順に表示されます。
2.登録ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 登録ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	
3.センサーポート設定画面に戻るボタン	クリックすると、「センサーポート設定」画面に遷移します。 ※値は変更されません。	

### 4-7-7 自動制御設定 画面

センサーポートに接続機器の異常発生時・復帰時のイベントの自動制御設定をリスト登録します。



画面の説明		
1. イベント登録画面	演算	プルダウンメニューより選択し設定登録します。「なし」「かつ」「または」「内2つ」
	センサー 1	プルダウンメニューより選択し設定登録します。演算「なし」の際は、センサー 1 を設定してください。「1」～「25」
	センサー 2	プルダウンメニューより選択し設定登録します。「1」～「25」
	センサー 3	プルダウンメニューより選択し設定登録します。「1」～「25」
	イベント	プルダウンメニューより選択し設定登録します。「発生時」「復帰時」
	制御 コンセント	プルダウンメニューより選択し設定登録します。「A1」～「A8」, 「AL」
	制御動作	制御コンセントへの動作を設定します。プルダウンメニューより選択し設定登録します。「ON」「OFF」「REBOOT」
	遅延秒数 (秒)	制御動作開始の遅延時間を設定します。プルダウンメニューより選択し設定登録します。「0」「30」「60」「90」「120」「150」「180」
次のページに続く。		

画面の説明	
2. 追加ボタン	設定したイベントをリストに新規登録及び追加登録します。 最大 10 件まで。
3. 編集ボタン	イベントの登録リストから選択したイベントを編集上書きします。
4. 削除ボタン	イベントの登録リストから選択したイベントを削除します。
5. イベント登録リスト	登録画面に設定したイベントをリスト一覧として表示します。 最大登録イベント数は 10 件。 「No.1」～「No.10」

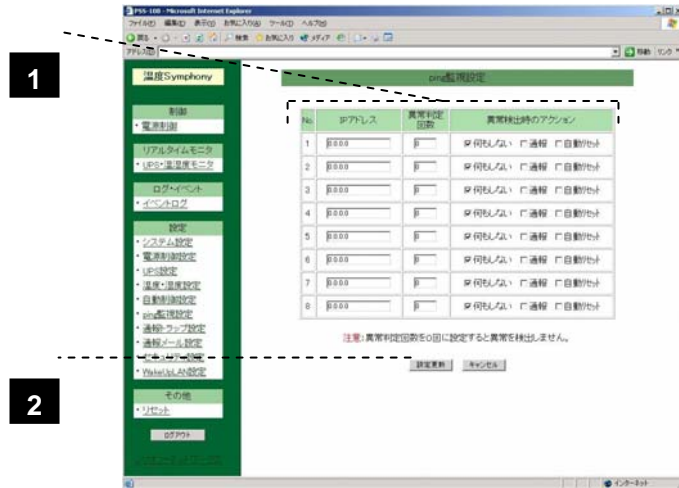


リストの削除の際には、下のリスト行より順に選択して「削除ボタン」をクリックしてください。

上のリスト行を選択して「削除ボタン」をクリックすると、イベント「undefined」と表示してリスト行が残りますので、注意してください。

## 4-7-8 ping 監視設定画面

接続された最大 8 台の機器の死活監視 (ping 送信) を行う場合に設定します。異常時に通知や自動的な電源リセットをすることが可能です。



画面の説明		
1.監視設定	IP アドレス	監視対象機器の IP アドレスを設定します。
	異常判定回数	異常とみなす ping の回数を設定します。ping の送信間隔は、60 秒に 1 回です。0 に設定すると異常判定を行いません。
	異常検出時のアクション	異常検出時のアクションを設定します。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



ping の送信間隔は、60 秒に 1 回です。ping 送信回数の判定は、アウトレット出力が開始された時点から開始されます。コンピュータなどの接続機器が起動し、ping に対する応答を開始するまでの時間を加味して設定を行ってください。

## 4-7-9 通報トラップ設定画面

SNMP トラップによる通報に関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.SNMP トラップ	トラップコミュニティ名	現在設定されているトラップコミュニティ名を表示します デフォルト値：「public」
	トラップ送信先	トラップ送信先と送信回数を設定します。
	セキュリティ違反時のトラップ機能	セキュリティ違反時のトラップ送信の有効/無効を設定します。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	

## 4-7-10 通報メール設定画面

メールによる通報に関する各情報の表示や変更を行います。



### 画面の説明

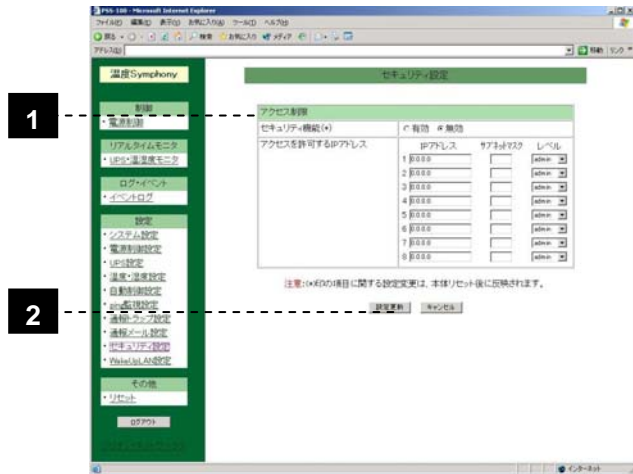
1.メール	メールサーバ (SMTP)	現在設定されているSMTP サーバアドレスを表示、設定します。 デフォルト値: 「0.0.0.0」
	POP 認証ユーザ ID	POP 認証のためのユーザ ID を設定します。
	POP 認証パスワード	POP 認証のためのユーザパスワードを設定します。
	送信元アカウント	送信元のアカウントを設定します。
	送信先アカウント	メール送信先を設定します。 5つまで設定できます。
2.通報イベント	メール送信のトリガーとなるイベントを選択できます。	
3.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



ご使用のメールサーバによっては、存在しないアカウントからの送信は受け付けられない場合があります。メールサーバの管理者に確認して設定を行ってください。

## 4-7-11 セキュリティ設定画面

本商品へのアクセスを制御するための設定です。



画面の説明		
1.アクセス制限	セキュリティ機能 (*)	有効を選択した場合、本商品へのアクセスを制限するセキュリティ機能が有効になります。
	アクセスを許可するIPアドレス	本商品へのアクセスを許可するホストのIPアドレス、サブネットマスク、レベル（セキュリティ）を設定します。 レベルには次の3つがあります。 admin → 全て操作可能です。 control → セキュリティ設定を除く操作が可能です。 Ident → リアルタイムモニタのみ使用可能です。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



(\*) 印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

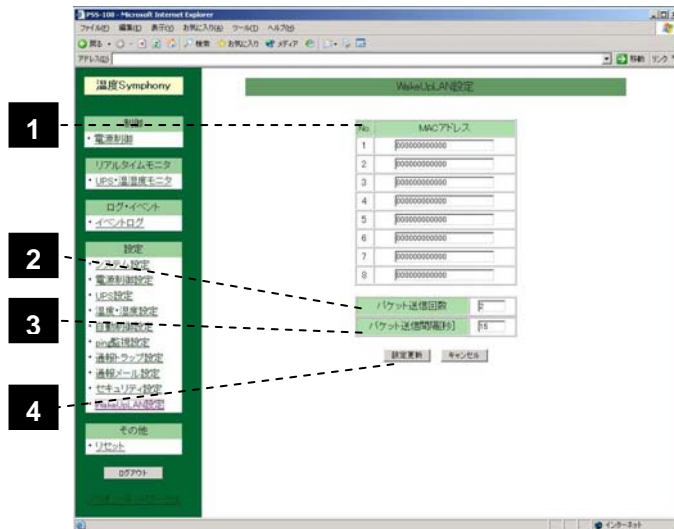
サブネットネットマスクは、ネットワークアドレスが先頭から何ビットまでかを記述します。

(例) IP アドレス帯 192.168.10.1～192.168.10.255、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスを指定する場合、IP アドレス欄には、「192.168.10.1」、サブネットマスク欄には「24」と入力します。

固定 IP アドレスを指定する場合、(例) 192.168.10.123、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスのみ許可する場合は、IP アドレス欄に、「192.168.10.123」、サブネットマスク欄は空「(何も入力しない)」にします。

## 4-7-12 WakeUpLAN 設定画面

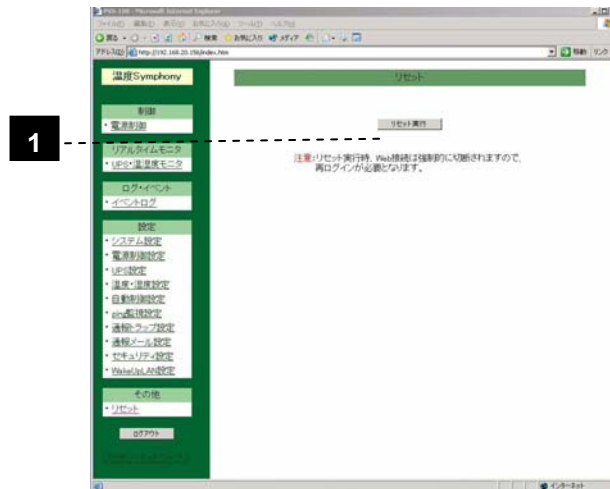
Wakeup ON LAN 機能を使用してコンピュータを起動する際の設定を行う画面です。



画面の説明	
1.MAC アドレス	Wakeup On LAN パケットの送信先コンピュータの MAC アドレスを設定します。
2.パケット送信回数	Wakeup On LANパケットの送信回数を設定します。
3.パケット送信間隔	Wakeup On LANパケットの送信間隔を設定します。単位は[秒]です。
4.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。

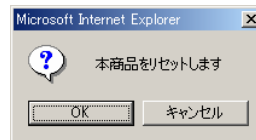
## 4-8 リセット画面

設定変更後等に本商品のリセットすることができます。



### 画面の説明

- |             |  |
|-------------|--|
| 1.リセット実行ボタン | 本商品のソフトウェアリセットを実行します。<br>リセット実行前に以下の確認ダイアログを表示します。 |
|-------------|--|



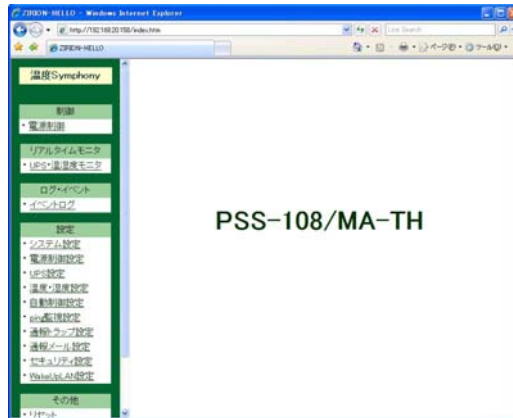
リセットを実行すると、電源コンセントの出力状態は全てONとなります。ただし、制御設定画面の設定で初期状態が OFF に設定されているコンセント出力は ON になりません。

## 4-9 ログアウト画面

下記の手順に従い本商品からログアウトします。



1. ログアウトするには左側メニューから [ログアウト] ボタンを押し、終了させてください。再びログインするには、ブラウザを立ち上げ「IP アドレス」を入力してください。



2. [ログアウト] ボタンをクリックするとログイン画面に変わります。



タイムアウト時のメニュークリック時は「Access denied」と表示します。

# 5

## TELNET サーバ機能



本商品は、ネットワーク（10BASAE-T）経由で本商品の TELNET サーバへ接続して、遠隔からの電源制御／状態取得を行うことが可能です。

### 5-1 TELNET サーバへの接続

1. 「telnet\_本商品の IP アドレス\_"8000"」として接続します。（"\_" はスペースを示します。）

例：商品の IP アドレスが 192.168.10.123 の場合（TCP ポート番号は、8000 固定です。）

```
telnet_192.168.10.123_8000  
と入力し、Enter キーを押します。
```

2. TELNET サーバと接続され、下図のとおり表示されます。  
以降はコマンドを入力することが可能です。（入力したデータは表示（ローカルエコーバック）されません。）

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.1) ready.
```

（本商品の IP アドレスが 192.168.10.123 の場合の例）

3. 上図の状態コマンドを入力することにより電源制御／状態取得が可能です。コマンドは次頁を参照してください。
4. 操作を終了する場合には、切断処理を行うか、切断コマンド（次頁を参照してください）を入力します。

コネクション切断処理を実施しないで、ハイパーターミナルやコマンドプロンプトを強制的に終了した場合、TCP コネクションが確立したままの状態が「システム設定」→「自動ログアウト時間」で設定した時間だけ保持されます。

TCP ポート番号は、8000 番固定です。変更は出来ません。

## 5-2 コマンド書式

コマンド書式を説明します。

電源制御／状態取得のコマンド書式は下記になります。

電源制御コマンド書式	
*<パスワード>#<コマンド><コンセント番号> ( * →アスタリスクを現します。<>は入力しません。)	
コンセント番号	
1～8	→ 個別のコンセントを制御
9～16	→ 拡張電源ユニット 1 台目の個別のコンセントを制御
17～24	→ 拡張電源ユニット 2 台目の個別のコンセントを制御
25～32	→ 拡張電源ユニット 3 台目の個別のコンセントを制御
状態取得コマンド書式	
*<パスワード>#POS	
コンセントの状態	
1	→ コンセント出力 ON (左からアウトレット 1～8 まで)
0	→ コンセント出力 OFF (左からアウトレット 1～8 まで)

コマンド一覧

動作	コマンド	例
全アウトレットの出力を開始する	MPON	*magic#MPON
全アウトレットの出力を停止する	MPOF	*magic#MPOF
全アウトレットをリブートする	MPOR	*magic#MPOR
出力を開始する	PON	*magic#PON1
出力を停止する	POF	*magic#POF1
出力をリブートする	POR	*magic#POR1
状態を取得する	POS	*magic#POS
接続を切断する	exit	*magic#exit
本体をリセットする (注)	ZRST	*magic#ZRST_****

(注)電源アウトレットの ON/OFF は行いません。

ZRST の後はパスワードです。( \_ は半角空白)

## 5-3 コマンド実行例

コマンドの実行例を説明します。

ここでは、例として本商品の IP アドレスが 192.168.10.123、パスワードが「magic」の場合を説明します。<Enter>は Enter キーを押すことを現します。

- 4-1 の手順に従い、TELNET サーバに接続します。
- 次のコマンドを入力し、コンセント出力状態を取得します。

\*magic#POS<Enter>

3. コンセント出力状態が下図のように表示されます。  
左からコンセント出力 1,2,3,4 の順番で状態を表しています。

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.1) ready.  
11110000.
```

この例の場合、コンセント 1~4 が ON 状態  
コンセント 5~8 が OFF 状態

4. コンセント 1 番を OFF にします。  
\*magic#POF1<Enter>
5. コマンドが正常に受け付けられた場合、下図のように表示されます。  
(入力したデータは表示 (ローカルエコーバック) されません。)

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.1) ready.  
220 192.168.10.123 Command OK.
```

6. 次のコマンドを入力し、コンセント出力状態を確認します。  
\*magic#POS<Enter>
7. コンセント出力状態が下図のように表示されます。

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.1) ready.  
01110000.
```

8. 次のコマンドを入力し、TELNET 接続を切断します。下図のように表示されます。  
\*magic#exit<Enter>

```
221 Goodbye.
```



TELNET 接続の切断処理を実施しないで、ハイパーターミナルやコマンドプロンプトを強制的に終了した場合、TCP コネクションが確立したままの状態が「システム設定」→「自動ログアウト時間」で設定した時間だけ保持されます。

以上でコマンドの実行例は終了です。

# 6

## SNMP 機能



本商品は、ネットワーク（10BASE-T）経由で SNMP での操作が可能です。

### 6-1 SNMP の使用

本商品はSNMPエージェント機能を装備しています。  
SNMP マネージャを利用して、ネットワークシステムの電源管理、電源制御を統合的に行うことが可能です。

#### MIB について

本商品を管理するためのプライベート MIB を準備しています。  
付属 CD 内 本商品-MIB (mib ファイル)

プライベート MIB ファイルを SNMP マネージャにロード・コンパイルすることにより、本商品の管理を SNMP マネージャ上で行うことが可能となります。

MIB のロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用される SNMP マネージャのマニュアルを参照してください。

# 7

お困りの  
ときには

## 7-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

### 設置に関するトラブル

#### a. 本商品の RUN LED が点滅しない

症状	原因と対策
RUN LED が点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグが壁のコンセントから外れていないか確認してください。</li> <li>● 電源プラグがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などのコンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。）</li> <li>● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、ジリオン・ネットワークサポートセンターにご相談ください。</li> </ul>

#### b. 本商品前面の LINK LED が点滅しない

症状	原因と対策
LINK LED が点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品と本商品の 10BASE-T に接続されているルータなどの両方の電源が入っていることを確認してください。</li> <li>● ネットワークケーブルが本商品と本商品の 10BASE-T に接続されているルータなどの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</li> <li>● ネットワークケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているか確認してください。</li> </ul>

b. Web ブラウザで本商品の Web 画面が表示されない

症状	原因と対策
Web ブラウザ画面のアドレスに「http://<本商品の IP アドレス>」と入力しても Web 画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロキシの設定をしていませんか。 →プロキシの設定をしている場合受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]→[LAN の設定]の順にクリックします。 ②[プロキシサーバを使用する][詳細]をクリックして、例外に「本製品に設定した IP アドレス」を入れてください。</li> <li>● 本商品に他のコンピュータからのアクセスがある。 →本商品へのアクセスは、その都度、1 台のコンピュータからのアクセスしか受け付けません。現在アクセスしているコンピュータでログアウト操作を行ってから他のコンピュータでアクセスしてください。</li> <li>● お使いのパソコンにプロキシの設定やファイヤウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。</li> </ul>
Web ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 →ユーザ名には、[admin]を入力してください。パスワードは[magic]を入力してください。(製品出荷時の場合です。設定を変更された場合は、設定したユーザ名、パスワードを入力してください。)</li> </ul>
ページが正常に開けない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Javascript を無効に設定されている →Web ブラウザの設定で Javascript を有効に設定してください。</li> </ul>

d. 本商品が正常に動作しない

症状	原因と対策
本商品が正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定スイッチが全て OFF (上向き) の状態になっていることを確認してください。</li> </ul>

# 8

## 付録

### 8-1 製品仕様

定格	AC100V 50/60Hz 40W
イーサネットポート (10BASE-T)	規格 : IEEE802.3 10BASE-T MDI コネクタ : RJ45 ポート数 : 1ポート 最大配線長 : 100m(CAT3 以上)
UPS (シリアル) ポート	RS232C DB9 オス
UPS (接点) ポート	RS232C DB9 オス
TMP ポート	コネクタ : RJ45
MASTER ポート	コネクタ : RJ45
SLAVE ポート	コネクタ : RJ45
LED	LINK, I/O, RUN 電源制御の状態表示
動作環境	温度 : 0~40°C 湿度 : 20~80%RH (結露なきこと)
外形寸法	W420×D210×H44 (mm) (突起部は除く)

### 8-2 お問い合わせ・ユーザ登録

#### ホームページ

本商品のオンライン情報サービスとして、インターネットのホームページを開設しています。

- 主なメニュー
  - お知らせ      最新のお知らせをご提供
  - サポート      ユーザ登録のご案内、技術情報、FAQ、サポート連絡窓口等のサポート情報をご提供
  - 資料請求      カタログ請求の申し込み
- ホームページアドレス  
<http://www.zirion.co.jp>

#### インフォメーションサービス

本商品の機能や取り扱い方法などでご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

- ジリオン・ネットワークス サポート  
 E-mail: [support@zirion.co.jp](mailto:support@zirion.co.jp)

## お願い

- お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。
  - お名前
  - 電話番号
  - 本商品の機種名「PSS-108/MA-TH」
  - 本商品のシリアル番号、商品の購入時期
  - 詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容 など
- パソコンの設置や操作方法などについては、パソコンのサポートセンターなどにお問い合わせください。

## 修理について

### ■修理

万一装置に故障が発生した場合、お買い求めの販売店、またはジリオン・ネットワークス保守サービス受付へご連絡ください。

### ■修理費用

当社規定の費用をお支払いいただきます。ただし、ご購入後1年以内の故障につきましては、保証書をご持参いただいた場合に限り、保証書に記載された保証規定に従って無料で修理いたします。

### ■保証書

保証書は、販売店で所定事項に記入いたします。保証期間、ご購入店名、記載事項をご確認の上、大切に保管してください。

### ■保守サービス時間帯

9:30～17:30（土・日・祭日を除く）